



皮膚科

Department of Dermatology

皮膚は環境、化学物質などの外的刺激に対する物理的防御だけでなく免疫応答にも関与している重要な臓器です。皮膚疾患の原因は多岐にわたっており、細菌/ウイルス感染/内臓疾患/免疫アレルギーによっても様々な症状が引き起こされます。

当院皮膚科は故須貝哲郎先生以来皮膚アレルギーに精通しており、各種検査を積極的に行なっております。

■ 診療日・診療時間

	月	火	水	木	金
午前 9:00～12:00	×	○	○	○	○
午後 13:00～16:00	×	×	×	×	×
休診日：土曜・日曜・祝日					

■ 医師紹介

加藤 敦子

医員

アレルギー性皮膚疾患
アトピー性皮膚炎

日本皮膚科学会 専門医
日本アレルギー学会 専門医
日本皮膚免疫アレルギー学会 代議員
日本皮膚免疫アレルギー学会 接触皮膚炎
研究班員

窪田 泰子

医員

皮膚科全般

阿部 桂奈

医員

こんな症状の方は、ご相談ください。

専門医が症状に合わせた治療をご提案します。

アトピー性皮膚炎

アレルギー性皮膚疾患

金属アレルギー

食物アレルギー

口腔アレルギー症候群/花粉食物アレルギー症候群

ラテックスアレルギー アニサキスアレルギー

薬剤アレルギー

光線過敏症

接触蕁麻疹

接触皮膚炎

乾癬

水疱症

蕁麻疹

感染性皮膚炎

蜂窩織炎

丹毒

帯状疱疹

皮膚潰瘍

中毒疹/薬疹

紅皮症、多形紅斑

円形脱毛症

皮膚腫瘍

白癬

肉芽腫疾患

■ 診療内容

食物アレルギーの検査・診断

食物アレルギーは、消化管感作による従来型のもの、特殊型の食物依存性運動誘発アナフィラキシー、花粉症の交差反応で生じるPFAS（花粉食物アレルギー症候群）、食物たんぱく誘発胃腸症などの消化管アレルギーまで多岐にわたります。近年は化粧品成分に関連した食物アレルギーもみられるようになりました。当科では皮膚テストなど徹底した検査を行い、診断から治療につなげています。

チャレンジテスト(入院)

食物依存性運動誘発アナフィラキシーや薬剤アレルギーでは、必要に応じて入院のうえチャレンジテストを行っています。

パッチテストによる精査

難治性の湿疹や自家感作性皮膚炎では、接触皮膚炎や金属アレルギーが原因となっている可能性もあり、パッチテストによる精査が重要です。当科ではパッチテスト精査を徹底して行っています。

■ 受診・予約について

初診の方 紹介状をお持ちください。

再診の方 予約制です。

予約方法 お電話にてご予約ください（06-6393-8196）。

お問い合わせ：06-6393-8196 （受付時間 9:00～17:00／平日）